

加東市まちづくり活動費補助金を活用した

まちづくり活動成果集

〔令和2年度〕



加東市マスコット 加東伝の助

加東市 市民協働部 人権協働課

はじめに

将来にわたって活力あるまちにしていくためには、まちづくりの主役となる「ひと」が、ふるさと加東への愛着や誇りとともに、夢や希望をもって、それぞれの個性を活かしながら活躍し、地域と共に元気であり続けることが重要です。そのためには、人と人とのつながりを大切にする温もりのある地域コミュニティを維持し、活発なまちづくりの担い手である市民活動団体を育成していくことが重要となります。

また、家庭環境や社会環境の変化により、ライフスタイルは多様化し、価値観やニーズも多種多様になっています。市民のニーズも複雑化し、これまでのような行政による均一のサービス提供を基本とするまちづくりでは補えない部分が出てきました。このような状況のもと、行政による均一のまちづくりで不足する部分を補い、よりきめ細かなまちづくりを進めることができる手段が、市民や地域が主体の「協働」の取組です。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の活動や行事がやむなく中止となるなど、今まで当たり前に行えていたことができなくなりました。このような時こそ、地域のつながりが必要であり、新しい生活様式を取り入れた、これまでと違った活動や行事に皆で知恵を出し合って取り組み、大切にしてきた絆を守り続けなければなりません。


加東市では、市民の皆さまが取り組まれるまちづくり活動に対して「まちづくり活動費補助金」を交付し、その活動を支援しています。この冊子は、令和2年度にこの補助金を活用された団体の活動をまとめたものです。それぞれの団体のまちづくり活動への思いやその取組などから、協働のまちづくりの大切さを認識していただき、市民や地域、行政などのそれぞれの役割について考えるきっかけにいただければ幸いです。

目次

【一般コース】	
・ NPO法人ペイフォワード	1
【スタート応援コース】	
・ 藪地域活性化プロジェクト	2
・ ふるやの森文庫	3
【テーマ解決コース】	
・ オイコスジャパン環境ベネフィット研究所	4
・ ひょうご SDGs ネットワーク	5
・ 加東市パークゴルフを広め隊	6
・ 加古川流域の魅力を広め隊	7
・ 社のおにわ亭実行委員会	8
・ 社高等学校生活科学科3年	9
・ 社高等学校生活科学科2年	10
(参考) 令和2年度加東市まちづくり活動費補助金(応募活動分)募集要領	11


団体名	NPO 法人パイフワード
代表者氏名	日下 伸一
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 子ども食堂</p> <p><u>1. 内容</u> 子ども達へ食事の提供と学習支援を行った。</p> <p><u>2. 目的</u> 食事と学習支援を通じて子ども達にとって安心して過ごせる場所の提供と子ども達と地域の方々や多世代間でのコミュニケーションを深める。</p> <p><u>3. 場所</u> 社福祉センター</p> <p><u>4. 期間</u> 令和2年6月1日～令和3年2月28日 毎週土曜日 17時～20時</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 1,361名（39回開催）</p>
	活動の効果・今後の取り組み


団体名	藪地域活性化プロジェクト
代表者氏名	坂本 千里
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 地域活性化及び地域内外交流・地域ICT化に向けたパソコン教室</p> <p><u>1. 内容</u> パソコン・タブレット・スマホ教室の開催 (初心者クラスから中級者クラスまで)</p> <p><u>2. 目的</u> パソコンの基礎学習、地域における事務処理、インターネット接続によるネット検索の習得</p> <p><u>3. 場所</u> 藪公民館</p> <p><u>4. 期間</u> 令和2年7月1日～令和3年3月31日 月2回開催</p> <p><u>5. 参加者数(来場者数)</u> 延べ120人</p>
	活動の効果・今後の取り組み

団体名	ふるやの森文庫
代表者氏名	木下 加代子
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 森の子供食堂</p> <p><u>1. 内容</u> 月2回の子供食堂 <ul style="list-style-type: none"> ・子供も、一緒に調理、盛りつけ、配膳をした。 ・講師を迎えて、お抹茶教室を開催した。 ・室内外での自由遊び、大人や小学生による絵本の読み聞かせ、紙芝居を行った。 </p> <p><u>2. 目的</u> ①食育、②友達や居場所づくり、③生きる力を育む、④協力することを学ぶ</p> <p><u>3. 場所</u> 自宅（加東市森）、やしらの森公園（兵庫県立公園）</p> <p><u>4. 期間</u> 令和2年6月～令和3年3月 月2回開催 11時～16時</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 参加者・子供364人、大人223人 計587人</p>
活動の効果 今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食への関心が深まった。・手伝いの体験を提供できた。 ・大人も子供も友達の輪が広がった。 ・異年齢の交流により、教え合いや助け合いが生まれた。 ・活動に協力して下さる方や、農家さんとの出会いがあった。 <p><u>2. 今後の取り組み予定</u> 生きる力の学びを育てていきたい。子供食堂の日に、子供にも、大人にも学びの時間を提供する。</p> <p>（例）子供に調理する時間を設ける。この際、大人の指導、見守りを行う。 食事終了後には、料理教室、俳句教室、洋裁、お花教室、子供の勉強等を、講師や保護者による指導で行う。</p> 


団体名	オイコスジャパン環境ベネフィット研究所	
代表者氏名	林 弘行	
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 自分の“好き”で選択できたらどんなに楽だろう『みんなで楽しくジェンダー平等』～2030SDGs カードゲームとワールドカフェ～</p>	
	<p>1. 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードゲームを通じて、2030年までの世界を体験した。 ・ジェンダー課題の解決策を話し合うワークショップを行った。 	
	<p>2. 目 的</p> <p>SDGsの5番の目標である、誰もが性別にかかわらず平等に機会を与えられるジェンダー平等な社会を目指す。</p>	
	<p>3. 場 所</p> <p>令和2年11月21日 滝野文化会館 令和2年12月17日 やしろ国際学習塾</p>	
	<p>4. 期 間</p> <p>令和2年11月21日、12月17日</p> <p>5. 参加者数（来場者数）</p> <p>11月21日 8人 12月17日 6人</p>	
活動の効果・今後の取り組み	<p>1. 活動により生まれた効果</p> <p>日常生活の中でほめ言葉として使っていた言葉が、ジェンダー問題になる言葉だと気づかされたとのアンケート結果にあるように、参加者同士で意見交換をし、視点を変えて考えることがジェンダー問題の解決に結びついていくようだ。固定概念や観念を取り除くのは難しく、まだまだ時間がかかるが、意見交換を通じ、他の人の価値観に触れることで解決する問題が多くあることを実感してもらえた。</p>	
	<p>2. 今後の取り組み予定</p> <p>昨年度の活動から2年目を迎え、ジェンダーの問題は根強いものがあり地道に活動を継続していかないといけないと思った。来年度は、LGBTQの問題を話し合えるような機会を設けていきたいと考えている。</p>	



団体名	ひょうごSDGsネットワーク	
代表者氏名	林山 祐子	
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 はなそう！やさしい日本語（日本人向ワークショップ）</p> <p><u>1. 内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字が読めないことを体験するワークショップ ・日本語教師による日本語からやさしい日本語に置き換える方法とその演習 <p><u>2. 目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰ひとり取り残さない」まちづくりに貢献する。 ・「やさしい日本語」の作り方を学び実践につなげる。 ・「やさしい日本語」で情報伝達・やりとりすることで、災害時や緊急時に役立てる。  <p><u>3. 場所</u> やしろ国際学習塾</p> <p><u>4. 期間</u> 令和2年11月15日 令和3年1月19日</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 令和2年11月15日 4人（大阪府2人、加東市5人） 令和3年1月19日 8人（加古川市1人、姫路市1人、加西市1人、西脇市3人、小野市1人、加東市1人）</p>	
	活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> ワークショップ終了後2週間のうちにやさしい日本語を使った参加者が約8割に上った。日本語を母語とする子どもや高齢者に使った例があり、日本人同士でもやさしい日本語を使うことで喧嘩にならなかった、いつもよりもコミュニケーションがうまれ、笑顔が生まれたとの報告もあった。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u> オンライン開催の準備をすすめ、多様な生活スタイルや多様な参加方法に対応しながら活動を広げていきたいと考えている。また、防災や福祉分野のやさしい日本語ワークショップの開催や、外国人向けのワークショップの開催を考えている。 また、やさしい日本語カフェのような気軽に日本人と外国人が集まって、やさしい日本語でコミュニケーションできる場所づくりをしたいと思っている。</p>


団体名	加東市パークゴルフを広め隊
代表者氏名	澤野 祥二
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 パークゴルフ大会と市内観光</p> <p><u>1. 内容</u> ①パークゴルフバスツアーの実施(明石市で募集したパークゴルフと観光ツーリズムの参加者と加東市内の参加者によるツアーを実施した。) ②パークゴルフ大会の開催(県立社高等学校生活科学科の生徒と加東市への観光ツアー参加者によるパークゴルフ大会を開催した。)</p> <p><u>2. 目的</u> ・パークゴルフ場の知名度をアップさせ、パークゴルフと周辺の観光を組み合わせた集客を図る。 ・スポーツと観光の連携により新たな集客、他地域との交流を図る。(スポーツツーリズムの普及)</p> <p><u>3. 場所</u> 滝野総合公園の夕日ヶ丘パークゴルフ場及び加東市内の観光地など</p> <p><u>4. 期間</u> ①令和2年11月9日 ②令和2年11月15日</p> <p><u>5. 参加者数(来場者数)</u> ①85人 ②35人 計120人</p>
	
活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> パークゴルフ大会及び新聞広告、パンフレットなどを通じてパークゴルフのレクリエーションゲームとしての魅力を伝えるとともに、会場となった夕日ヶ丘公園パークゴルフ場のPRが図れた。加東市の観光地を巡るツアーに、地元の高校生とのパークゴルフ体験を取り入れることで、スポーツツーリズムの実現に向けての取り組みが開始できた。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u> 来年度以降も「パークゴルフ大会」の開催を予定しており、活動を継続することで「加東市といえばパークゴルフ」というイメージを確立・定着させたい。パークゴルフを核としたスポーツツーリズムを完成させ、加東市への観光客や訪問客の誘致により、交流人口の増加を図りたい。さらに加東アート館や滝野温泉ほか、播磨中央公園との連携、加東市以外の地域の方々との交流など、集客ツーリズムの推進を図りたいと考えている。</p>

団体名	加古川流域の魅力を広め隊
代表者氏名	長谷川 妙子
活 動 内 容	<p>活動テーマ 内から外から 加東市ファンを増やそう大作戦</p> <p><u>1. 内 容</u> 加東市の魅力を伝えるツアーを開催した。加古川流域滝野歴史民俗資料館、鬪竜灘、西国25番札所播州清水寺を訪れ、昼食は、加東の秋の味覚「季節の子持ち鮎（落ち鮎）料理」を提供した。また、道の駅とうじょうでは地域の特産品販売を行った。</p> <p><u>2. 目 的</u> 京阪神地域から観光（学ぶ、観る、食べる、買う）にお越しいただき「加東市」の魅力を伝え、加東市ファンを増やす。</p> <p><u>3. 場 所</u> 加古川流域滝野歴史民俗資料館、料理旅館「滝寺荘」、西国25番札所「播州清水寺」、道の駅とうじょう</p> <p><u>4. 期 間</u> 令和2年11月9日、11月12日</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> ツアー参加者41人（神戸市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市からの参加）</p>
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> GoTo トラベルキャンペーンやひょうご五国バスツアーを活用したことによって地域内での消費の拡大に寄与した。加えて、新聞広告により、加東市の魅力が伝えられ、加東市の知名度アップが図れた。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u> 加古川舟運や、流域に残る伝統芸能の「獅子舞」や「馬鹿音頭」を使っのイベント開催などを通じて、集客や地域の活性化に取り組んでいきたい。</p> <div data-bbox="539 1691 1114 1960" data-label="Image"> </div>

団体名	社のおにわ亭実行委員会	
代表者氏名	小紫 吉猛	
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 空き家を活用したまちを活性化する拠点づくり</p> <p><u>1. 内容</u> 社地区の商店街の空き店舗や空き家を活用して、まちの活性化をするための拠点づくりを行い、空き家対策の相談や情報交換の拠点となるために活動を行った。</p> <p><u>2. 目的</u> 社地区の商店街は空き店舗や空き家が急増している。空き家を活用して継続的にまちを活性化するための拠点づくりを目指すために「社のおにわ亭実行委員会」を立ち上げて先進地の実例を学びながら、実行委員会の組織を確立していく。</p> <p><u>3. 場所</u> 社地区の空き家、空き店舗の活用（社のおにわ亭の開催）</p> <p><u>4. 期間</u> 令和2年4月6日～ 令和3年3月29日</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 実行委員：16名 一般来場者：約800名（第6回おにわ亭）</p> 	
	活動の効果・今後の取り組み	<p><u>活動により生まれた効果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員の中から数名が発起人となり KCR-LAB を9月に設立した。KCR-LAB が上月亭の改修工事を行い、コワーキングスペース「ゆらの」を3月31日オープンした。 ・兵庫教育大学附属小学校5・6年生が、未来デザインプロジェクトで1年間商店街に関わり、2名の先生が実行委員会へ参加され、イベントにもたくさんの生徒が参加した。
		<p><u>今後の取り組み予定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上月亭の運営は KCR-LAB に委ね、実行委員会がサポートしていく。 ・社連合区や社地域まちづくり協議会等と連携して活動していくことが必要であり、今後、働きかけをしていく予定。

団 体 名	社高等学校生活科学科3年
代表者氏名	若浦 直樹
活 動 内 容	活動テーマ・行事名 「人」とのつながりを原動力とした地方創生
	1. 内 容 <ul style="list-style-type: none"> • もち麦の普及活動として、もち麦を活用したメニュー開発、試作を重ね、最終的に、「勝とう丼」の販売を実施した。 • もち麦粉を活用した焼き菓子を開発し、高校生チャレンジショップ「フードデザイン工房 Seica」で販売を行った。 • 地方創生★政策アイデアコンテスト2020に、地域活性化を目的とした政策アイデアを応募し、受賞した。
	2. 目 的 幅広い世代の方との交流活動を通して、地域とのつながりを強め、新たな特産品の認知度向上による地域活性化を試みる。また、地域経済分析システムRESASを使用して加東市の現状分析を行い、加東市産もち麦を活用した地域活性化活動を模索する。
	3. 場 所 <ul style="list-style-type: none"> • 県立社高等学校 • やしろショッピングパーク Bio • 県立嬉野台生涯教育センター • 加東市内飲食店
	4. 期 間 令和2年4月～令和3年3月
活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 組 み	5. 参加者数（来場者数） <ul style="list-style-type: none"> • 勝とう丼販売 100名・フードデザイン工房 Seica 300名 • 近畿経済産業局長賞授賞式 100名 • 地方創生★政策アイデアコンテスト全国最終審査会 20,000名
	1. 活動により生まれた効果 地域経済分析システム RESAS を使って加東市の課題を分析し、解決するための政策アイデアを考案した。株式会社マルヤナギ小倉屋と連携して加東市産もち麦の普及活動を行った。この政策アイデアを内閣府が主催する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募したところ、地方予選においては、近畿経済産業局長賞を、全国最終審査会においては、協賛企業賞を受賞することができた。
	2. 今後の取り組み予定 3年生は卒業してしまうが、本活動は在校生が引き継ぐ。今後も加東市の魅力を発信する活動を続けていく中で、新たな地域活性化案を提案していく。



団体名	社高等学校生活科学科2年
代表者氏名	若浦 直樹
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 「食」からつながる地方創生</p> <p><u>1. 内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東市の魅力発見バスツアーを企画した。 ・フードデザイン工房 Seica や加古川ヤマトヤシキにおいて、開発商品の販売を行った。 ・内閣府主催の地方創生★政策アイデアコンテスト2020に地域活性化を目的とした政策アイデアを応募し、受賞した。 <p><u>2. 目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東市とつながりのある団体との交流活動を通して、市内の特産品を活用した地域活性化を試みる。 ・加東市内の道の駅や市外での販売活動を通じたPR活動を行い、加東市への交流人口の増加につなげる。 <p><u>3. 場所</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立社高等学校・やしろショッピングパーク Bio・ホテルグリーンプラザ東条湖・加古川ヤマトヤシキ・加東市内各所 <p><u>4. 期間</u> 令和2年4月～令和3年3月</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東市の魅力発見バスツアー13名・フードデザイン工房 Seica 300名 ・近畿経済産業局長賞授賞式100名・加古川ヤマトヤシキ250名
活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u></p> <p>バスツアーは、コロナ禍により開催が危ぶまれたが、募集人数を最小限にし、感染予防策を徹底した上で実施することができた。多くの取材が入ってくれたことで、参加者の方だけでなく外部に向けて、加東市をPRすることができた。</p> <p>本活動は、地域経済分析システム RESAS を使って加東市の課題を分析・解決するための政策アイデアの一環として実施した。この政策アイデアを内閣府が主催する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募したところ、近畿経済産業局長賞を受賞することができた。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u></p> <p>今年度の活動を通して見えた課題や反省点を活かし、3年生になる次年度も地域活性化を目的とした活動を続けていく。</p> 

令和2年度加東市まちづくり活動（応募活動分） 募集要領

1 目的

市民の皆さまが「自ら考え、行う」活動を支援することにより、より良い活動の創出を促し、地域の活性化、市民と行政の協働のまちづくりに寄与することを目的とします。

2 補助メニュー

次の3コースから1コース選択し、応募してください。（応募できるのは、1コースのみです。）

コース	① 一般コース	② スタート応援コース	③ テーマ解決コース
対象活動	市内で行う、市の歴史や自然、産業、文化等の啓発、伝承を促進する活動又は地域コミュニティの推進に関する活動で、 地域の活性化が図られる広域的なもの を対象とします。		左記に加えて、 市が定めたテーマに基づいて行う活動 を対象とします。
補助率	対象経費の 60%	対象経費の 100% (3年目は 80%)	対象経費の 100%
補助上限額 <small>(予算の範囲内)</small>	200,000 円		300,000 円
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ○活動は、令和2年度中（令和3年3月まで）に完了するものとします。 ○慣例的な活動や団体の内部にとどまる活動などは対象外とします。 ○営利目的、反社会的、政治又は宗教を普及する活動は対象外とします。 ○国・県・市などから補助を受ける活動は対象外とします。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○同一団体による同一内容の活動は、連続した2年間までとします。 ※ただし、学校（小・中・高等学校等）を単位とする団体については、構成員（生徒）が毎年異なると考えられるため、同一団体とはみなしません。 	<ul style="list-style-type: none"> ○採択された活動は、連続した3年間補助します。 ※2年目以降も審査があります。3年目は、補助金額を対象経費の80%とします。 ○1年目は単一自治会内での活動を認めますが、2年目以降は範囲を自治会外までの拡大を条件とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○同一団体による同一内容の活動は、連続した2年間までとします。 ※ただし、学校（小・中・高等学校等）を単位とする団体については、構成員（生徒）が毎年異なると考えられるため、同一団体とはみなしません。

3 対象団体

市内に活動拠点をもつ団体で、その代表者と構成員の半数以上が加東市民であるものを対象とします。ただし、スタート応援コースは、設立後3年以内の団体に限ります。

4 テーマ解決コースで定めるテーマ

テーマ解決コースは、以下に示す①から③のテーマについて、現状と目指す状態・将来像を踏まえて行う活動を対象とします。

①人口の維持・増加または交流人口の増加・加東市の知名度アップにつながる活動

【現状】

加東市においても、将来は人口減少・少子化が予想され、その対策が必要になっています。また、市内には、地域の名所や歴史的な遺産、貴重な観光資源などが数多くあり、それらを有効活用するためには、さらなる魅力発信やPRを行う必要があります。

【目指す状態・将来像】

男女交流のきっかけづくりや、市外からの定住・移住を促す取組を通して、人口の維持・増加を目指します。また、市内の名所や歴史遺産、観光資源などを有効活用することで、市外から人を呼び込み、交流人口の増加と加東市の知名度アップを目指します。

【活動例】

- ・加東市在住・在勤の男性を対象にした男女交流パーティー
- ・若者を対象とした就農体験
- ・市外の人々を対象とした加東市の歴史・名所などの魅力を紹介するツアーの実施 など

②男女共同参画や女性活躍の推進につながる活動

【現状】

少子高齢化の進展や人口減少が進む中で、社会の多様性と活力を高め、経済を発展していくために、男女共同参画社会の実現が課題になっています。

【目指す状態・将来像】

男女共同参画を推進することで、性別に関係なく誰もがその個性と能力を發揮できる、豊かで活力ある社会の実現を図ります。

【活動例】

- ・女性の起業支援など女性活躍を推進する事業
- ・女性のみで構成される団体によって開催されるイベント
- ・男性料理教室など男性の家事参加の促進を目的とした事業 など

③国際交流や多文化共生の実現につながる活動

【現状】

在住外国人が増加していることから、市民や地域の共生意識の高揚を図るとともに日常生活などをサポートする多文化共生社会づくりのより一層の推進が求められています。

【目指す状態・将来像】

在住外国人への日本語教育支援や生活情報の提供などの生活支援を通して社会参加を促進することで、市民や地域の共生意識を醸成し、多文化共生社会の構築を図ります。

【活動例】

- ・在住外国人やその子どもを対象とした日本語教室
- ・外国語に対応した加東市に関するガイドブックや観光マップなどの作成 など

5 補助対象経費

<補助対象となる支出>	<補助対象とならない支出>
(1) 会議費（打合せ会等） (2) 会場使用料 (3) 消耗品費（用紙代、文房具代） (4) 印刷製本費（チラシの作成・印刷等） (5) 食糧費 ※上限あり (6) 材料費（調理を行う際の食材等） (7) 賞品代 ※上限あり (8) 備品代 ※上限あり (9) 謝礼（講師、出演者に対するもの） (10) その他必要な経費	(1) 土地や建物（完成品）の購入費 (2) 酒類の代金 (3) スタッフへの手当てなど、報酬として支出するもの

※経費が対象となるかどうか迷う場合は、市民協働部人権協働課までお問い合わせください。

○上限について

- (5) 食糧費 補助金希望額の3分の1以下（単価850円まで）
- (7) 賞品代 補助金希望額の2分の1以下（単価300円まで）
- (8) 備品代 上限20,000円（ただし、スタート応援コースは、上限50,000円とします。）